(1)

(8)

●川

崎

第

4

平

右

衛

菛

顕 彰

会

研

月 20 日 Ш 崎

国分寺市いずみホ

ルで開催 究 会

の

蔵野の歌が聞こえる』公演をきっかけに結成され4年目を

'平右衛門顕彰会・研究会は2016年、現代座の

三武

2020年12月1日 発行 (通巻 487 号) 定価 100 円

現代座レポート No. 84

- ・第4回川崎平右衛門顕彰会・研究会開催
- ・『風は故郷へ』稽古風景 ・ホールの楽屋が新しく (2)
- ・誰でもできる朗読教室 (3)
- われらいずこより来たる」第2部(1959年①) (4-5)
- れから 55 年 元気でやっとるでよれ (6)山田敏雄
- ・誰でも参加できる・みんなのリトルコンサート (7)
- ・現代座会館をどう活用するか~タスクフォース 会館日誌 会員入会・継続・寄付

NPO 現代座ホームページ http://www.gendaiza.org/

特定非営利活動法人 NPO現代座 発行責任者:木村快

〒 184-0003 東京都小金井市緑町 5 丁目 13 番 24 号 TEL 042-381-5165(代) FAX042-381-6987



蔦谷栄一さん 農的社会デザイン 研究所代表



◆星野信夫さん 国分寺市観光協会 会長



◆藤田 徹さん 日本社会連帯機構 専務理事



【功労感謝状】 鹿子木孝男さん

寺市 精一 催したいと8月から準備を再開し、 協同組合関係者、 国分寺市のいずみホールで開催することができました。 迎えます。 入場者、 たがコロナ禍で中止になりました。 第4回の今年は春に岐阜県瑞穂市で行う予定で

右衛門」 ら享保の改革と川崎平右衛門の仕事と功績をわかりや 研究所代表の蔦谷栄一さんが「国分寺市域の開発と川崎平 先生は体調不良でお休みになり、今回は農的社会デザ の上映と映画監督森康行さんが参加されたトークショー。 ◆総会を挟んで午後は講演とパネルディスカッションで ΜĪ 開会挨拶ではじまり、映画『ワーカーズ・被災地に起つ』 午前中は川原隆哲(ワーカーズコープ東京統括本部長) 例年は大石学先生の会長講演で始まるのですが、 崎平右衛門供養塔の写真をプロジェクターで映しなが のテーマで講演され ました。 国分寺にあるふたつ イン すく 大石

300人のホールですが、コロナ対策で100人までの 杯の準備をしての研究会になりました。 民中心に活動するグループである多摩地域の史談会 定期的な換気、椅子の消毒、 ワーカーズコープの仲間たちでした。 検温とマスク着用と、 参加者は国分

多摩川、 贈られました。 起人の一人で、 語れないと改めて考えさせられた研究会でした。 う促進していくのかを考えるとき、 蔵野新田地図を発掘された方です。 功労感謝状は、 西 は狭山丘陵と広大な地域 鹿子木さんは平右衛門の足跡を探求し、 今年2月に亡くなられた鹿子木孝男 「川崎平右衛門顕彰会・研究会」 **です。** 川崎平右衛門 協同の営み な の さん に 創 しには 立 をど 武

蒧

熱く語り合いました。 わり、「地域創生と川崎平右衛門、 信夫さんに、日本社会連帯機構専務理事の藤田徹さん ◆講演後のパネルディスカッションは蔦谷栄 そして協同」 さんと星 につい も 加 野

新田開発と関係の深

しかし何とかして開

◆今回の研究会スタッフの感想としては とのこと。 から協同の価値や意味をどのように伝えていくかが課題だ 協同労働 いう特徴があり、同時に 労働者協同組合とのつながりが見えてきた」 「競争する社会」「一人でいる社会 「川崎平右衛門と لے

江戸史における武蔵野は、 北は荒川 東 (は隅田: Щ 南

が生き生きと語ってくださいました。 明治時代の国分寺村の誕生から現在まで。 に旧石器時代の遺跡が発見された町であり、 語られました。 ◆今回の特別講演は国分寺市観光協会会長の星野信夫さ 国分寺の建立と鎌倉時代の焼失。江戸時代の新田の開発 国分寺の歴史と文化」 でした。 国分寺市は日本で最初 短い時間でした 奈良時代の武

風は故郷へ』

ナ禍の中で

劇中歌の稽古

のための稽古は、毎月みんなで集まって少しずつ進ん がJRになり、かつては開拓地に通じた鉄道も廃線と て大きく転換していく1980年代が背景です。国鉄 でいます。戦後の日本社会が高度経済成長期へ向かっ なり、 開拓地は次々と消されて行きます。 コロナのために来年に延期した『風は故郷へ』公演

策に従って生きてきました。国に捨てられた人間の最 年義勇軍からシベリア抑留、 取り残された二人の老人は、戦時中の満蒙開拓青少 そして戦後開拓と国の政



実際は会場 マスクをつけての合唱、

らないことがたくさんあります。 歴史や戦後の農業政策の変遷など、 後はどうあるべきかをテーマにした作品です。 勉強しなければな 戦争の

が表現されなければなりません。これはけっこう厄介 な仕事なのです。 と違って、劇中人物として歌うため、一人一人の役柄 中歌の稽古を始めました。劇中歌はクラシックの合唱 10月は台本の読み合わせ。11月は芝居の中で歌う劇

ものでした。今では数軒しか残っていない地区で、廃 歌です。地域の集まりでは大人も子供も一緒に歌った 校になった校舎を偲びながらもう一度この歌を歌って のために自力で分教場を建てた時、みんなでつくった 呼び起こします。木村快作詞、岡田京子作曲の簡単な せんでした。でも来年8月の舞台ではきっと素晴らし 旋律の歌ですが、稽古してみるとそう簡単ではありま みようとします。その歌の響きが思いがけない変化を い劇中歌になるでしょう。 劇中歌『高原分校の歌』は開拓者たちが子どもたち

ールの楽屋が新しくなりました

ら俳優が回り込む通路もかねて、細長く作られていま いました。その下にあったコンクリートの壁と天井は できない間に、思い切って改造することにしました。 機能も相当劣化していました。コロナでホールが使用 奈落と言われる部分に楽屋があります。 舞台の両側か 現代座ホールは地下にあるのですが、もう一層下の 鏡や棚をはずし、壁の板も床も全てはがして取り払 最初に造られてから40年以上になり、湿気対策の



てもらうだけのお金がありません。 みました。しかし、 痛んでいる部分があったので、その補修は専門家に頼 新しい壁や床も業者に頼んで作っ

「よし、自分たちで少しずつやろう!」と決めたので

がったのです。今までより広く明るい楽屋は使ってく れた俳優さんたちにもとても好評でした。 気の配線等を頑張りました。そして公演前日に出来上 休んだりして、壁塗り、 すが、これは大変なことでした。 の西河大さんと木の下敬志さんが徹夜したり、 います。このままでは間に合わないと、NPOメンバー 11月20日にはコロナ後初めての公演の予約が入って 床張り、 階段の取り付け、 仕事を 電

PO現代座 誰 でもできる朗読教室 講師 長谷川葉月

N

階小ホールでありました。 態宣言のため、4月開講が2ヶ月遅れの6月開講とな ぐ の成果を発表してくれました。そのうち5名が初参加 でもできる朗読教室」第9期生発表会が現代座会館3 11月25日 (水) と26日 ·期は新型コロナウイルスによる感染対策の緊急事 溌剌とした声を聞かせてくれました。 (木 今回は18名が6ヶ月の受講 の2日間にわたり「誰

りました。 また、 開講してからも感染予防対策として

> たり、 逆で、今までで一番多い受講人数です。不自由な状況 受講生同士の距離の確保やマスク・フェイスシールド の心の交流が深まっていった気がします。 のなかでも、顔を合わせてお互いに何気ない会話をし 感染の心配から、声を出す「朗読」講座に申し込む人 と窮屈な思いをされた方もいらっしゃると思います。 も減るのではないかと思っていましたが、実際はその ・マウスシールドなどの着用をお願いするなど、 一緒のテキストを勉強することで、 受講生同士 随分

今回は残念ながら発表会は無観客となりましたが、

開催できたこと自体が喜びでした。この日に向けて各 人が練習をして「衣装を着て晴れの舞台に立つ」。 こ

誰でもできる朗読教室 (後列左より) 臼井雅紀、前田夏子、古明地節子、石川秀樹 (前列左より) 早乙女裕子、長谷川葉月(講師)、井上尚子、環笑子

(後列左より) 田中ヒロミ、井上照美、江花幸子、手塚修、小野寺優子、本田典子 (前列左より) 尾花はるみ、高嶋悦代、長谷川葉月(講師)、今井治江、佐藤忍

お知らせ 誰でもできる朗読教室 2021 年 1 月期 受講生募集

2021年1月開講 基礎訓練から舞台発表までの 12 回講座 開講期間/2021年1月~6月

①水曜日 昼クラス (原則第2週・第4週) 13:30~16:00

②水曜日 夜クラス (原則第2週・第4週) 18:00~20:30

③木曜日 夜クラス (原則第2週・第4週) 18:00~20:30

定員/各クラス8名程度 料金/受講料20,000円

っているか分からなければ伝わらない」と気づか

さんと一緒に発声・発音の基礎練習で声を出すこ されました。それで、この半年間、受講生のみな はいけない。いくら良い小説を読んでも、

何を喋 これで

のが面倒くさくなっていました。

「あぁ、

口を開いていないのかな」。そうです。口を開く

に聞き直されました。「なんでだろう。

ちゃんと

お問い合わせ (現代座) TEL 042-381-5165 FAX 042-381-6987

上記クラスに木曜日(昼クラス)が追加になりました

昼クラス (原則第2週・第4週) 14:00~16:00 定員3名

ずっとマスクをして会話をしていると、何度も人

しいことはありません。なのに、私自身、春から

体この2点さえ押さえておけば、

いい朗読になる

かれた作品を選ぶ、

②読み手がきちんと喋る、

大

ている人の想像力に頼っていますから、①良く書

はずです。喋ることは日常していることですし難

うのは、 す。 びと朗読発表をしてくれました。この状況下でも、 励まし、 の皆様には心から感謝しています。発表会を終えて思 心して行えるようにサポートしてくださったスタッフ 言う人もありました。長年参加している方で「今回が のことは少なからず受講生の元気を支えていたようで 一番楽しかった!」という感想も聞かれました。そ コロナ禍で、改めて「朗読」について考えてみます みなさん、いつにも増して楽しい気持ちで伸び伸 朗読は何も特別なことではありません。「本に書 私、 プルなことなのです。 いてあることを、声を出して語る」。こんなシン 笑わせ、心を豊にさせるということでした。 朗読はこんなにも人を感動させ、 三ヶ月ぶりに口紅を塗ったわ~」と笑顔で しかもかなりの部分を聴い 勇気づけ

を味わうことから、 来期の朗読教室も、 はじめてみたいと思います。 声を出す楽しさ、

とは、

私にとって、

大切な機会でした。

われらいずこより来たる 1959年① 不思議な学校 第2部

村 快

からは第2部として、木村快自身が体験した新制作座 の歴史を紹介することにする。 前回までの、 資料によるまとめを第1部とし、 今回

・経済成長への転換期

の3部授業でまともな教育は受けられなかった。 倉庫や陸軍練兵場跡での野外授業。 義務教育で中学へ進学するが、校舎はなく、旧陸軍の 広島はまだ焼け野原のままだった。教育制度が変わり もあり、ぼくは母と別れて広島の親戚に引き取られた。 父は現地召集で硫黄島へ送られ戦死。母子6人で日本 広島の親戚と連絡がとれたが、 で焼け野原。 へ引き揚げてはみたものの、父の出身地広島市は原爆 ぼくは戦前植民地の朝鮮生まれ。 1947年(昭和2)に父の戦死公報が発行され、 しばらくは九州の筑豊炭坑地帯で暮らす。 母が病気で倒れたこと 敗戦間際になって、 それも一日3交代

東京タワーは 1958 年暮れに完成した。 どんどん変わっていた。 ワーの建設がはじまり、 ていた。ちょうど経済成長への転換期である。東京タ いた東京都江東区高橋(たかばし)のドヤ街で暮らし 1958年からは日雇い労働者の寄り場が開かれて 公共事業が拡大し、寄り場に 都市計画が進み、東京の街は

どんやって来 稼ぎ農民がどん は東北からの出 ていた東京湾の た。ぼくが働い

次々と楽しかった部分について話し始めた。

会が終わりそうになったので、こっそり引き揚げよ

貨物船荷揚げ作業も、 ルト・コンベアー方式に変わりつつあった。 足場を渡る人力担ぎ上げからべ

文学書を読んだ。それが唯 ればと考えていた。仕事にあぶれた日は図書館 22歳になって、 何か将来に備えた仕事を見つけなけ 一の自己教育だった。 へ通い、

◆新制作座との出会い

9月頃、

友人に連れられて、

した動きに観客が一斉に笑い、拍手を送っている。そ どよめきの中で一体になっていた。 れていた。結構まじめな時代劇だが、俳優のちょっと の『野盗、 して次の瞬間静まりかえる。気がつくと自分も観客の 風の中を走る』を観た。 読売ホールで新制作座 会場は熱気にあふ

だもの。 じような労働者らしく、うんざりしながら聞いていた。 居を観たら心が晴れて、生きる勇気が湧いてくるよ」 聞きながら一生懸命メモを取っていた。こうした合評 開かれた合評会に参加した。劇団からは舞台に出てい 貰った。「ぼくは生まれて初めて芝居というものを観た なくなった。気の毒なのでつい手を上げて発言させて 前に陣取り、 会には慣れているらしい「新劇通」らしい数人が真ん め、それが延々とつづいた。参加者の多くはぼくと同 た二人の若い女優が来ていた。二人は参加者の意見を そのうち女優たちが辛そうにうつむき、メモを取ら 数日後、また友人に引っ張られ、 それまで黙っていた労働者たちが一斉に拍手をし、 楽しかった。 少々いやなことがあっても、あんたたちの芝 次々と新制作座の演技について批評を始 あんなにみんなが笑って拍手するん 亀戸の労政会館で

> うと外へ出たら、 下さい。 かけてきて、「ありがとう。ぜひ一度劇団に遊びに来て あなたのこと劇団で話すわ」と言った。 劇団の「椎名」と名乗る女性が追っ

がら通えるらしい。しかし受験資格が大学卒業者また 生たちだという。 が中心だという。 者の真山美保さんから直々に呼び出しがあり、 は見込みの者となっていたので断ったが、なぜか主宰 で学ぶよう説得された。 い」と誘われた。 で一回限りの特別研究所が開かれるから受験して欲 数日後、 その椎名さんが訪ねて来て、「今度新制 研究所は夕方からだから、 講師陣は新制作座を支援する偉い先 演劇教育ではなく、 社会思想の講座 昼働きな 研究所 作座

ら7月までの半年間、西武新宿線でこの学校に通った。 日雇い寄り場で日銭を稼ぎながら、 ぼくは早稲田大学近くの鶴巻町に移り、 1959年2月か 高田 |馬場の

不思議な学校・時代が読める教育を

校を開くことになったという。 ちに呼びかけ、〝塾〟のような形で個別教育のできる学 田定良教授(前号参照)が、同じく支援する教育者た であった。そこで特別劇団員として名を連ねていた福 出家などの中心スタッフを育てなければならない時期 劇 団は創立7年目を迎え、本格的に運営・ 作 家 ・ 演

中には学生演劇の作家賞を受賞した者もいたし、 身者で、 ては想像もつかない別世界だった ア語でメモを取るつわものがいたりして、 受講生は英文科、 在学中に上演経験を持つ者が選ばれていた。 仏文科、 ロシア語科、 ぼくにとっ 芸術学科出

新劇人教育としては前代未聞

この不思議な学校は知識人の間でも関心が高まっ $\overline{}$

2階建て、木造だが新しくて気 で。 は週6日、午後5時から9時ま 持ちのいい稽古場だった。講義 すぐそばにあり、建坪120坪 西部新宿線井荻駅(杉並区)の 11時を過ぎていた。 家に帰り着くのはいつも夜

◆新制作座の本部・稽古場は

【常任講師



哲学史 体育バレエ 言語学 西欧文化史 日本文化史 日本歴史 社会科学 (特別講師) 館石昭子(日本体育大学講師 郡山純雄 大島辰雄(法政大学教授) 舟橋尚道 大久保忠利(日本言葉の会) 松島栄一(東京大学教授) 永井智子(二期会) (法政大学教授) (愛知大学教授 (法政大学教授

児玉好雄 (舞台芸術学院主事 (舞台芸術学院学長

青野季吉 大島康蔵 (教育大学教授) (評論家

藤島宇内 清 (法政大学教授

福田定良(法政大学教授) 高杉一郎(静岡大学・共立女子大学教授)

春に出版された演劇雑誌『新劇』の特集コラム〈岡目 いたが、 八目放談会〉と言う記事に「新制作座は少しおかしい 新劇界の反応は冷ややかだった。1959年 な若者」と好奇の目で見られていたが、それでもみん

初心者でも近代哲学や思想分野に関心が持てるように り専門劇団だね。 たしかに演劇に関する科目は全くなかった。講義は 女剣劇みたいな」とあった。 ヴァリューだけで〝真山美保とその劇団〟だ。

ドサ回

云々と云ってる。 のじゃないか。

演技の勉強を全然やらずに大衆の演劇

あれは新興宗教だよ。真山のネーム

ように現代につながっているかを学ぶことだった。 ン・ロック、エンゲルスなどの主な著作や思想がどの 6ヶ月かけてデカルト、 カント、ヘーゲル、

に補足し、 受講生の中では、ぼくは「タカバシから来た不思議 解説してくれた。

ぼくに理解できれば、 に向かって講義をしてくれるようになった。どうやら とした演劇教育になるだろうということだったらしい。 本来の目的である勤労者を対象

な親切にやり方を教えてくれた。 講師の先生方もぼく

した。この受賞は一般社会への知名度を広げ、 国巡演活動を率いる真山美保が第7回菊池寛賞を受賞 座にとっては絶好の追い風となった。 ちょうどこの学校がはじまった1959年2月、 ◆真山美保・全国巡演活動で菊池寛賞受賞 新制作 全

た。それを補足するような日本史、文化史、 よろしい」と大変自由な雰囲気で進められ 一興味があればどんなまと外れの質問でも た4月には、

ちも、 を白黒させながらノートをとっていた。特 にぼくにとっては講義を受けるなどという 演劇論ではいっぱしの議論をする秀才た 哲学や歴史の分野となるとみんな目

言語学の講義は楽しかった。

すように」と言ってくれた。レポートを提 問を繰り返した。幼稚な質問に時にみんな 出すると、講師はぼくにわかるように丁寧 は笑ったが、講師はニコニコしながら岩波 まるで小学生のように書き取りをしては質 たことのない名前や言葉の連続だったから、 文庫や青木文庫にある研究文献を紹介し、 ことは生まれて初めてだし、とにかく聞い ·読んでみて、短くてよいからレポートを出

長の秋田雨雀先生も大変賛同され、学院の卒業が終わっ 学院は学生運動〈全学連〉にも加盟していたから、 たから新劇界の事情には詳しかった。また、舞台芸術 治問題についても意識が高く、 た。彼らはすでに2年間、専門の演劇教育を受けてい 特別学校の企画には演劇専門学校・舞台芸術学院学 推薦された卒業生8名が送り込まれてき 学校の雰囲気を変えた。 政

◆卒業公演はオペラの上演

部正作曲)だった。音楽学校などで上演される作品ら とも恥ずかしく、講師からはいつも指摘された。 され、女性とペアになってワルツを踊らされる。 品は万葉集にも謡われた悲劇の女性『真間の手古奈』(服 爽としていて、 オペラを上演することになった。週に一度、合唱とバ しい。オペラなんか見たこともないのにタイツを履か レエの基礎訓練がはじまった。こうなると舞芸組は颯 卒業公演は劇場芸術の可能性を考える体験として 全体を巧みにリードしていた。上演作 なん

卒業公演は口コミで広がり、大学や出版関係の人々 「快君、惨めな格好をしないで! 胸を張って!」

が集まって大盛況だった。 援知識人と協力して実現した」特別な学校だった。 この学校は新制作座の歴史にとって、ただ一度の 支

新制作座8期生となる

じで、 五郎一座顛末記』 給されるようになった。劇団は一挙に大きくなった感 座の第8期生となる。そして月3000円の手当が支 7月末、24名中20名が劇団に正式採用され、 【次号は1959年②全国巡演の実態】 8月からは再演が期待されていた大型作品 の全国公演の準備が始まった。 新制作

あれから55年 愛知県尾張旭市・ 元気でやっとるでよぇ 山田敏雄



◆運命の出逢い

1962年に名古屋市交通局に入 くはバスの運転手になるため、 もう55年前のことになるな。 あれは1965年のことだから

の出逢いだった。 らしいぞ」と驚いていた。訴えていたのは美しい女優 さんで杉浦きね子さんと記憶している。破れたピンク めしい団体の女性が熱っぽく訴えていた。名古屋には クルの事務所に行ったら「新制作座争議団」という厳 靴から小指が出ていたのを覚えている。それが運命 :制作座ファンが多く「新制作座が70名も首を切った していた。職場の映画サークルに加入し、ある日サー

現代座、 組合事務所に点検に行くと机の引き出しにそのままに なっていた事が多かった。 なかなかチケットが売れず公演は空席が目立ち、 もどこかで(1973年)』、と実行委員を続けたが、 (1971年)』『オモチャの青春(1972年)』 あれ以来ぼくはずっと新制作座争議団、 NPO現代座とかかわり続けている。 統 『今日 『希望 劇場、 ある

『ふるさと』で大成功

若い人たちや初めて出逢って取り組みをして貰う時は! り実行委員会の劇場づくりはいいなと思った。今でも 支社の試写室で山田洋次監督の『同胞』を観てやっぱ 変して大成功だった。石毛さんに連れられ松竹名古屋 のオルグは石毛佳代子さんだった。公演は今までと一 屋事務所で「ふるさとみる会」が発足した。このとき 必ずDVDを観てもらってから話すようにしている。 1976年1月、当時国鉄熱田駅の近くの劇団名古

`「結婚」公演超満員の大騒

円を渡してお帰り頂いたこともあった。 演した。3日目にとうとう会館事務所から入場ストッ トを買って貰った観客に囲まれて「良かった、 ブが掛かって、入れなかったお客さんに交通費500 終演後、ロビーで実行委員会の若者たちが、 1978年に名古屋市民会館の中ホールで3日間公 ありが チケッ

ときは本当にうれしかった。 だ。愛知でも二回開催した。 にマイクロバスを運転して参加したのも楽しい思い出 毎年開催されていた全国の仲間が集う「同胞の集い」

とう!」と言われているのを二階のロビーから眺める

◆統一劇場が三つに分かれて

とかしなくちゃ」と思った。それがまた新たな出逢い ず、 プ出航」と三つのユニットに分かれ、やがてそれぞれ え、劇団は「ふるさときゃらばん」「希望舞台」「グルー て消息をたずねてみると、実はほとんどが創立メンバー ぜか「グループ出航」からは話がなかった。 になった。 の家族持ちで、10人以上の子どもを抱えて公演ができ からは愛知の窓口になって貰いたいと頼まれたが、な 独立して行った。若いメンバーが多い二つのユニット 1983年のことだった。その頃劇団員が百人を超 都内を走り回っていたらしい。「これは大変、なん 気になっ

『カンナ咲く島』で再出発

たちと出逢うことが出来るようになっている。 は幅広い取組で実行委員会を作り、 出航(1990年からは現代座と改称)による『カン ち上げることになった。そして1986年のグループ ナ咲く島』の公演で再出発することになった。その後 で、新しい地域で「瀬戸線沿線文化をつくる会」を立 映 当時、ぼくは住む場所も尾張旭市に変わっていたの 画 同胞」のラストシーンで、 青年団の愛ちゃん ひと回り巾広い人

> くはこの台詞が好きだ。 結び付きが大切だと思っている。 はなくまわりの人たちにも味わってもらうには、 たら『幸福』とはそういうことではないか」と言う。ぼ が「なんであんなに夢中になれたのだろうか。 そして自分だけが経験するので もしかし

◆現在は【はじめ良ければ尾張旭好しの会】

本当に幸福だと感じており、それは劇団と出逢った事に いま振り返って、多くの人達と出逢え続けられたのは する中に有る」「人間が一緒に生きていく絆、 化だ」と言われたことがある。正にその通りだと思う。 つきると心から感謝している。 以前木村快さんが「文化とは、その土地の人達が交流 それが文

はじめ良ければ尾張旭 現在は若い人と一緒に



地域の歴史や文化

自分たちで紙芝

第一

グリーン・シティテレビの画面から 子どもたちを集めての紙芝居

かっている。

んがやり残した分まで、やってから行きますので暫くお の手でしっかり抱く迄は、ハッキリお断りをして、 の方々が天国に行かれた。ご冥福をお祈りします。 待ちください。【ニックネーム ◆思えば劇団と出逢って以後、ぼくが知るだけでも一 けれど、ぼくは上からお呼びが掛かっても、 ひ孫をこ 裄

誰でも参加できる みんなのリ



どなたでも参加できるコンサートです。2008年ク たコンサートで36回を数えました。 リスマスの第1回から年2、3回のペースで開催して おり、2020年11月1日に現代座小ホールで行われ リトルコンサート」は音楽のジャンルを問わず

川崎市からも出演者が集まってきています。 のこと、遠く静岡県三島市、神奈川県厚木市、 以来多くの回を重ね今日に至ります。東京はもちろん と恐る恐る伺いました。即座にご快諾いただき、それ アノがあり、舞台があり、照明設備がしっかりしてい て、客席が約50席の暖かい雰囲気がとても気に入り ⁻こちらでコンサートを開かせていただけないか?」 2014年に初めて現代座を訪れた時、グランドピ 横浜市

◆誰でも参加できるコンサート

バンドアンサンブル、など、それぞれの腕前を披露し、 齢)までの演奏者が、ピアノ、歌、フルート、合唱· には障がいのあるお友だちもいます て、自分以外の人と力をあわせて演奏することのたい 子や兄弟姉妹で連弾やアンサンブルをすることによっ お互いを聴き合います。子ども同志で、あるいは親 んさや面白さも学んできました。参加メンバーの中 リトルコンサートは幼児から88歳(今までの最高年

想など内容はさまざまですが、この場での発言をきっ の演奏の反省点や近況報告、 流を深めています。 かけにしてメンバー同志がさらに切磋琢磨し、心の交 人一言自分の気持ちを述べる時間があります。自分 演奏が終わったら客席の椅子をぐるりと輪に並べ、 他の人の演奏に対する感

「くまのこグループ」の活躍

支える大人が一つになって活動する「くまのこグルー 重ね、10年にわたりたくさんの曲を弾いてきました。 てきています。そして障がいのあるお友だちとそれを まさに「継続は力なり」の言葉通り、地道な努力が実っ に貼った色つきシールに助けられながら丁寧に練習を 障がいのあるお友だちは色音符楽譜とピアノの鍵盤

曲家の作品を演奏し世に広 本童謡協会所属の詩人・作 それぞれの個性と得意分野 作曲家湯山昭の作品や、日 を活かし、日本の誇るべき 「くまのこグループ」では プ」が生まれました。



日本の伝統文化である紙漉き技法による和紙の製作 の自立支援の一助となればたいへん幸せに思います。 すでにヨーロッパの地に渡り、現地の方々に温かく迎 や、水引のオリジナル作品の製作、などをしています。 めること、パソコンによる色音符楽譜の作成と普及、 になった仲間だからこそできる活動であり、 えられています。この活動は、 これらの日本文化を伝える作品は国内のみならず 音楽によって心が一つ

◆伝統音楽と世界音楽の絆

世代の子どもたちに伝えていくことの大切さを 段」などに姿を変え、細く長くではありますが す。その後キリスト教弾圧令などによって、 グレゴリオ聖歌が演奏されたという記録が残っていま と言われていますが、起源は古く、安土桃山時代には で繋いできた日本の伝統や音楽の輪、 日本の中に根付いてきました。私たちも今日ま レゴリオ聖歌は、オラショ、ぐるりよざ、箏曲「六 日本におけるクラシック音楽は明治期に入ってきた 文化を次 050-3136-4409 music@voce.gr.jp

感じています。 トを続けていけたらと思ってい 人に参加していただきながら、リトルコンサー できる限り長く、そして、できるだけ多くの 津田連絡先

津田直美・哲子 (つだ なおみ・のりこ)

ます。

是非ご連絡ください。 時募集中です。興味のある方は リトルコンサート出演者は随

> 電話 メールアドレス

現代座会館 の活用めざすタスクフォース結成

場のなかった私たちは「時代錯誤の原始共産制だ」と笑わ 会をつくって、地域の催しとして芝居を上演しました。 れながら、子どもや母親も丸ごと一緒に暮らしました。ト の予告もなく突然解雇されたことから始まりました。行き で働いていた全国巡演劇団・新制作座から70人の若者が何 演活動は全国を訪ね歩き、地域の若者たちと上演実行委員 現代座は56年前の1964年のクリスマスの朝、それま 1973年に現代座ホールを建設したとき、全員で所有

歌が聞こえる』上演活動を通して、みんなで資本を出し合っ の資料をどうするかが課題となっていました。 めに役立てられないか、60年に及ぶ全国での地域上演活動 われわれがいなくなっても、この施設をなんとか人々のた なりました。そして今、代表者の木村快も85歳になります。 する方法を探したのですが、そんな方法はなく株式会社に 幸いなことに、江戸時代の「協同」を扱った『武蔵野の

が集まって検討する「タスク リードで、様々な分野の人々 代座を支援する人々、 するワーカーズメンバーや現 事の永戸祐三さんをはじめと 労働者協同組合連合会名誉理 2回の検討会が開かれました。 12日に第1回、12月7日に第 議論を進めています。 フォース」が結成され、 代座のメンバーが集まり、 についてはワーカーズの 現代座ホールの今後のあり N P O 10 月

> 代座会館 9月~11月 活動日誌

9月10、11日 「現代座レポート83号」発送作業 24 日 29 日 14 日 ワーカーズ永戸氏、吉原氏来訪 「川崎平右衛門研究会」事務局会議 「川崎平右衛門研究会」事務局会議

10 月 22 18 12 日 日 日 現代座タスクフォース会議

社会連帯 tokyo 総会参加

11月8日 20 日 緑町第2町会役員会 第4回川崎平右衛門研究会」 一川崎平右衛門研究会」事務局会議 玉 1分寺市

現代座ホール

第3木曜日「緑町ふれあいサロン」

9月12~26日 スタジオポラー

「注文の多い料理店」稽古公演

11月7~12日 10月17~26日 スタジオポラーノ 燐光群 稽古

「どんぐりと山猫」

20 11 ~ 23 13 日 14 日 劇団 enji 松崎サンディアス写真撮影 稽古

との交流が生まれ、現代座が抱える課題を一緒に考えてく

て事業を進めるワーカーズコープ(労働者協同組合)の人々

れるようになりました。

29~12月1日 「ぼくの好きな先生」公演 ふるきゃら

瓶ヶ森の河童」

9 月 13 日 現代座「風は故郷へ」稽古

10 月 11 日 11月8日 11月1日 月2回 現代座「風は故郷へ」稽古 津田リトルコンサート 現代座「風は故郷へ」稽古 今井「岡田京子歌の講座

【定期使用 二階サロン】 毎水曜日 隔木曜日 毎火曜・木曜日 ipad 熟年講座 熟年パソコンサークル ヨガ教室

隔水曜・木曜日

朗読教室

NPO現代座の会員になってください

- ●年間4回発行の活動レポートをお送りします。
- 会員による企画行事をお知らせします。
- ●お申し出があれば、上演舞台の録画DVDをお送りします。

(現代座レポート購読料を含む) 3,000円 10,000円(1口以上)

★年会費 一般会員

協賛会員 郵便振替口座番号 00110-7-703151 NPO現代座